

あれこれ 町政を問う



澤田登代一 議員

Q. 第4次松前町総合計画について A. 出来ることから取り組みます

問 第4次松前町総合計画の中で次の産業の育成について、中・長期にわたる政策、考え方を問う。

1. 農地を有効に使うため、松前町の10年先の農業について。

2. 小売業者は新しい時代に合わせて戦略ビジョンを早く立て実施する必要があると思う。松前町をもっと積極的にPRするために看板やパンフレットで、大型商業施設に来る人たちが既成の商店街に呼び込む、具体的な方策は。

3. 土木建設業は仕事が減って、困難な時期にある。災害発生時、重機等がないのでは間に合わない。町内業者の仕事の増加と災害時の支援協定などが必要では。

答 町長

1. 高齢化、後継者不足で、現在松前町では認定農業者74人を認定し



ています。生産法人については9つの経営体があり、また集落営農も1つの組織があり今後新しく農業をやりたいという担い手の掘り起こし、また経営の拡大等を支援していきま

す。

県の農業の指導班、あるいは農協や農業委員会などの団体と役割を分担しながら、農業従事者のニーズをしっかり聞いて、連携して推進していきます。

松前町内の耕作放棄地は17ヘクタールで、わずか2.3%で、県内では耕作放棄率が一番少ない地区です。

2. 大型商業施設ができたからこれで松前の商業はいいということではありません。

ここに大勢の消費者が町外からも来るわけですので、その人たちをぜひ既成の市街地の商店等と呼び込む工夫をしていかないと、せっかくの消費者を逃がします。

農家の方や若い経営者、意欲的に取り組んでいる方を積極的にPRをして、地域の活性化につなげていきたい

と思います。

一次産業あるいは商業は、地域を支える非常に大事な産業ですから、連携を図りながら、活気のある町にするように努力します。

3. 地域経済の活性化、あるいは災害時における地域住民の安全や安心を確保するためには地元の土木建設業者は大変重要な役割を担っていることを私も十分承知をしています。

日ごろ町が発注する公共事業のうち指名競争入札は、町内業者が施工可能な工事をできるだけ優先して指名しています。

また一般競争入札についても、町内業者の対応が可能な場合には出来る限り町内業者が参加できるような地域枠要件というものを設けて、入札の参加機会の確保を図っていきます。